

令和3年度  
第3回逗子市下水道事業運営審議会

議事録

令和3年7月20日（火）開催

令和3年度 第3回逗子市下水道事業運営審議会  
会議録

日時：令和3年7月20日（火）

午前10時～11時

場所：市役所5階第4会議室

出席者

委員

小日向 孝 夫	委員	小 曾 利 男	委員
佐 藤 浩 子	委員	田 村 佳代子	委員
鎌 田 素 之	会 長	太 田 康	委員

事務局

芳垣担当部長	須田環境都市部次長	
須田下水道課長	青木担当課長	
船田副主幹	小上馬係長	小田主事

欠席者

桜 井 宏 美 委員

傍聴者

な し

配付資料

審議会次第

資料1：付帯意見（案）

資料2：答申（案）

## 司会（須田課長）

それでは定刻となりましたので、ただいまより令和3年度第3回逗子市下水道事業運営審議会を開催いたします。

恐れ入りますが、着席にて進行させていただきます。

現在まだ傍聴者はおりませんが、希望の方が来られましたら、その都度、入室を許可したいと思います。

なお、本日の審議会につきましては会議を録音させていただきますとともに、全て情報公開の対象となることを、あらかじめ御承知おきください。

続きまして配付資料の確認をさせていただきます。本日机上天にてお配りした資料は、会議の次第、資料1付帯意見（案）、資料2答申（案）でございます。資料の配付漏れはございませんでしょうか。

（「なし」の声あり）

本日の会議の出席委員について御報告をいたします。桜井委員からは事前に欠席の御連絡をいただいております。本日の出席委員は6名でございますので、逗子市下水道事業運営審議会条例第5条の規定により会議は成立いたしております。

それでは、ここからの進行につきましては、審議会条例第4条第2項の規定により、会長のほうにお願いをしたいと思います。お願いいたします。

## 鎌田会長

それでは、前回に引き続き、下水道使用料の改定についてを議題にして進めていきたいと思っております。前回の会議の内容を踏まえて、事務局のほうから説明をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

## 小田主事

それでは説明させていただきます。資料1を御覧ください。前回の審議会におきまして、委員の皆様より御意見いただいた付帯意見の原案を作成し、事前にメールにて送付させていただきました。その中で何点か修正意見がございましたので、この場で皆様に御検討いただきたいと思います。

まず改定時期について、原案では「周知の上」としていたところ、「十分配慮の上」と修正してはどうかと御意見をいただきました。

次に、生活困窮者への配慮については御意見がなく、原案どおりとしています。

続いて、周知に関して4点御意見がございました。※2について原案では「コロナ禍にあっても改定せざるを得ない状況について理解を」となっておりますが、「改定する場合は使用者も十分な理解・納得が」と修正してはどうかという点です。

続いて、原案では「使用者への十分な説明と周知」となっていたものを、「説明と周知に最大限の努力」としてはどうかという御意見でした。

次に、「経営指標」となっているものを「社会経済情勢や経営指標」と修正してはどう

かとの御意見でした。

最後に、原案で「3年～5年ごとに見直しを行うなど」としていたところを、削除してはどうかという御意見をいただきました。

続いて、資料2を御覧ください。こちらは今まで御審議いただいた内容をもとに、答申書の原案を作成いたしました。簡単に御説明いたします。4月8日付で市から提出した諮問について、当審議会の中で、改定については必要性を御理解いただき了承いただいておりますので、冒頭でその旨述べさせていただきました。ただし、審議の中で、改定に際しての留意事項が上がりましたので、そちらについて付帯意見として提示しています。便宜上、付帯意見には事務局が作成した原案が入っておりますが、こちらには後ほど、本日作成した付帯意見を差し替えさせていただきますと思います。

以上、簡単ではございますが、付帯意見に寄せられた御意見と、答申書の案について御説明させていただきました。御審議のほどどうぞよろしくお願いいたします。

**鎌田会長**

それでは、原案について5か所、委員から御意見をいただいております。

修正に対しての意見ですので、このままにするのか、それとも御意見いただいたものを反映させたほうがいいのかを、どなたか御意見いただければと思いますが、いかがでしょうか。

※1から※4に関しては、文言の修正という形ですけど、※5に関しては削除ということなので、大分趣旨が変わってくるかと思えます。どなたがどういう形で意見を出したかというのは、私も十分把握していませんが、御意見いただいた方以外で、もし御意見があれば、それも踏まえて原案を変更したいなと思えますが、いかがでしょうか。

**田村委員**

質問よろしいでしょうか。※5なんですけど、これを削除する意図というか、目的を教えてくださいたいかと思えます。

**鎌田会長**

これは事務局にお伺いしたほうがいいのか、それとも御意見をいただいた方にお伺いしたほうがいいでしょうか。

**須田課長**

そうですね、事務局で当初皆さんに提示させていただいて、修正された方がいらっしゃるの、できれば削除された方に根拠を御説明いただければと思います。

**鎌田会長**

これはどなたが挙げられたのでしょうか。

**小曾委員**

私が修正の提案をしました。

**鎌田会長**

そのちょっと意図をご説明ください。

#### 小曾委員

提案というか、意見というか。御存じのとおりコロナが爆発的な状況になり、私からすれば想定どおりであり、これから定期的に3年あるいは5年の見直しが決まり事項だと明記するのは、さすがにいかがなものでしょうか。

それから、※1から※4までは原案についてもう少し慎重かつ丁寧に表現したほうがいいのかと思います。あくまで使用者の目線に立った意見として、答申案に反映させたいということです。

そして、まず※1、「周知の上」というのは、ある意味では言葉の置き換えですが、「十分配慮をした上」という表現にしました。

それから※2、「コロナ禍にあっても改定せざるを得ない状況について理解」というのを、「改定する場合は使用者が十分な理解と納得」として、さらに念を押すような形にしました。

※3も同じような趣旨なので、「説明と周知に最大限の努力」と、できるだけのことをやったという意味で修正しました。

それから※4、「経営指標が」とありますが、経営指標が悪くなれば自動的に改定していいのかと。経営指標も、ある意味でももちろん大切かもしれないけど、その前に、使用者である市民の生活、あるいは社会情勢、経済情勢も必要ですが、そこがそっくり抜けているので、「社会経済情勢や経営指標」と、そういう形で意見として反映させていただきました。以上です。

#### 鎌田会長

はい、ありがとうございます。※5以外についても、今御説明をいただきましたが、今の修正の意図を踏まえて、皆様方から御意見をいただければと思いますが、いかがでしょうか。

#### 田村委員

この修正意見を拝見して、とても丁寧な言い方になって、よりこの審議会の意見を反映した表現になっているなと思って、とても感心し、さすがだなと思っておりました。最後の3年から5年ごとに見直しを行うところを削除するのは、ちょっとどうかなと思いましたが、それはこの答申後のパブリックコメントでこの見直しについて触れないのかなということと、今回大幅な単価の値上げになるわけですけれども、これまできちんと、少しずつ改定していれば、こんな急に値上げをしなくても済んだのではないかという気もするので、見直しをして値上げをするかしないかというのは、また別の判断となるので、見直しはやはり定期的に行う必要があるのかなと思います。以上です。

#### 鎌田会長

多分2つあると思うんです。「検証し」という部分は前のところに書いてあるので、恐

らく検証はされると思うんですけど、料金の見直しまで踏み込むかどうかというところが、今後の努力と、あと3年から5年という具体的な数字を示されているところがポイントなのかなと思うんですが。具体的な数字と見直しを行うということを含めて、今までの経緯を踏まえて、入れたほうがいいかなという田村委員のお考えでしたね。

**田村委員**

検証は、どちらにしても行うというのであれば、この※5の部分は、削除してもいいのかなという気もするんですけども、経営戦略はどちらにしても5年に1回見直しをするんですよ。

**須田課長**

はい。

**鎌田会長**

今までも経営戦略は作ってあるけど、結局見直しのところまで踏み込めてないので、今、田村委員がおっしゃられたように、今回比較的幅の大きな値上げにしないといけないということだと思うので、「3年～5年」なのか、「定期的に」なのか、その文言はいろいろ書き方があるかと思います。

**田村委員**

そうですね。

**鎌田会長**

なので、今までどおりという話であれば、「検証し」というところまででいいと思いますが、そこをより具体性を持たせるという意味では、年限と見直しをという文言があったほうがいいという意図なのかなと私は理解して、よりいいんじゃないですかということ以案を作っていたところがあります。

**小曾委員**

結局、3年から5年ごとに見直しをするということは、今までの前段の議論を踏まえると、これは3年から5年ごとに定期的に値上げをするという、言ってみれば既成事実化みたいな話だと、常識的に誰が言ったってそう思えます。値下げなんてないことは小学生だって分かります。それで、これも何回も言ってますけど、平時だったらいいけど、こういう有事の事態で値上げを既成事実化するようなことを文章化して残しておくということが、使用者、市民にとってプラスなのかということなんです。

今、会長がおっしゃったとおり、検証までにとどめたということで、それは当然検証してもらわなきゃ困りますが、3年から5年に見直しするというのは、使用者と市民のほうに向いているのかと思います。事務局を含めて、この審議会も含めて、どこを向いてこういう議論をしているのか。単なる下水道上の経営指標ばかり見えて、そっちのほうに目を向けて議論ばかりしているの、市民と使用者のことに目配せが、今まで十分であったかどうか。あるいは、目配せをするんだという前提で案を作ったのか。それが心配に

なりました。これはずっと一貫して言っていることなんですけど、こういう文言にして出されますので、こういう形で答申がされてると結構重くなるので、より慎重になされるべきだと思います。

#### 小日向委員

※1から※4に関しては、さっき田村委員がおっしゃったように、丁寧になっているのでいいと思うんですが、やはり問題は※5の削除ということです。会長がおっしゃったように、継続的に検証をするということは必要だと思うし、それから見直しをやらないではなくて、考えるぐらいの表現にして、検証と考えるということは、やるんですよということにしておかないと、何にもできなくなってしまうので、見直しを考えるぐらいは入れておいたほうがいいと思います。

#### 鎌田会長

ほかはいかがでしょうか。

#### 佐藤委員

結局のところ、下水道の料金って、いずれは上がっていくものだと認識しています。※5をそのまま取ってしまうと、まるで値上げがしばらくないというふうに、逆に捉えられかねないと思えてしまいます。ある程度、一定期間の検証を繰り返すことで、値上げの可能性はあると含みを持たせたほうがいいのかなと私は思います。見直しを行うという文言や年度など、大体これぐらいのタイミングで上がる可能性があるというようなことは、周知が必要かなと思います。そうでないと、値上げの話が出たときに、逆に反発が起きるんじゃないかと感じます。ある程度こういう予定で、もう更新などをせざるを得ない状況であるということは十分に周知はしていかなければいけないですし、それについては値上げが必要だということをセットで考えてもらわないといけないと思うので、これについて文言はやわらかくするにしても、ある程度含みを持たせた表現というのは必要だと思います。

#### 鎌田会長

削除はせず、これを残してほしいということですね。

#### 佐藤委員

そうですね、表現の仕方はあるかと思いますが、削除はしないほうがいいんじゃないかなと思います。

#### 鎌田会長

文言は何か具体的にございますか。今、「行う」ということだと改定が既定路線なので、「考える」、若しくは例えば「考慮する」という表現もあるのかなと思います。また、3から5という数字を具体的に示すのか、「定期的に」という形をすれば、その年限に関しては、もう少し曖昧な表現で、例えば「経営戦略を見直すときには」という話になるのかなと思います。

#### 佐藤委員

「定期的に」ですとか、「数年ごとに」ですとか、はっきり年数は表示しないまでも、定期的に検証は繰り返して行って、その結果に伴い見直しも考慮するという文言は、あったほうがいいと思います。

#### 太田委員

まず、※4についてなんですけど、文脈からして、「社会経済情勢」を入れると、「社会経済情勢を用いた経営分析」というふうに、この文章にかかってしまうと思うので、文脈として成り立つのかなという疑問があります。あと、「検証し」の後の「見直しを行うなど」を取ってしまうと、検証して適正な運営に努められたいということだと、ちょっとつながりが悪いと思います。検証と見直しをセットということで、ここは定期的に見直しを行うという趣旨の文言を残したほうが、文脈としてなめらかなんじゃないかなという印象を持ちます。

#### 鎌田会長

文章は多分、これを入れての文章なので、また除いた場合には文言の修正はもちろんあると思うんですけども、基本的には、検証をし、見直しというところは、残したままで、5つ目は同意という意見でよろしいでしょうか。

#### 太田委員

はい。

#### 鎌田会長

文言はまた、あともう一度細かなチェックはしていただくとして、前の社会経済情勢がどこにかかってくるかというところは、確かに御指摘のとおりという気もしますので御修正をいただくような形でよろしいですか。

皆さんの御意見お伺いして、除いたほうがいいという意見もございしますが、ほかの委員の方々は、やはり見直しという言葉を残したほうがいいかなという御意見が多いようですので、こちら、残す形で進めたいと私は思いますが、文言はいかがいたしましょうか。年限を加えたほうがいいのか、例えば「定期的に」という形にするのか、それから後ろの部分について、「見直しを行うなど」というのが原案ですけども、「見直しを考える」など、例えば「見直しを考慮し」など、文言はいろいろあるかと思いますが、行うとすると見直しを行うというのがまず前提であるという話になってしまうかと思いますが。「考える」、若しくは「考慮し」ということであれば、検討はするけど、もう少し緩やかな表現になるのかなという私は認識しますが、いかがでしょうか。

#### 小曾委員

これから何年後かにこういう社会情勢や、あるいはコロナの問題がどうなっているかわかりませんが、どっちにしても今のこの段階で「3年～5年」という年数と、それから値上げを予定しているという文脈を残すことは、極めて不相当だと思います。ですか



ら、3年から5年というのを当然削除してもらったほうがいいです。だからといって将来的に絶対値上げをしないんだということを言ってるんじゃないんです。今この段階で、はっきりと定期的に何年ごと値上げをするんだということを明記するのが拙速だと言ってるんです。時期尚早です。

#### 小日向委員

今の小曾委員のことをそのまま通すと、10年以上全く値上げをしてこなかったから大幅に値上げになったわけでしょう。そこが問題なんだから、やはり何年かごとに考えて、きちんと審議するというを残しておかないと、全然駄目だと思います。残さないといけないと思います。

#### 小曾委員

審議をするなど言ってるんじゃないありません。検証と見直しはします。ただ何年か置きに見直し云々という案を、あたかも値上げすることが既定事実かのような表現はやめたほうがいいと言っています。

#### 小日向委員

そうになってないですよ。「行う」と言ったらそうですけど、「考える」なら、ならないでしょう。

#### 小曾委員

「行う」と書いてあるじゃないですか。

#### 小日向委員

だから「考える」と修正しようと案を出しています。

#### 鎌田会長

事務局から何かありますか。

#### 須田次長

昨年いろいろ御検討いただいて、経営戦略を作りました。その25ページなんですけれども、「使用料の見直しに関する事項」について経営戦略に記載しております。文章的に御参考にしていただければと思うんですけど、その中での使用料については、「3～5年程度で見直しの必要性を検討していきます」という表現になっています。これも一つの、見直しの必要性の検討なので、答申についても、「3～5年程度で見直しの必要性を検討するなど」という表現にすると、経営戦略と整合性があると思いますのでご参考までにお伝えしました。

#### 小曾委員

いずれにしても何度も言うようですが、値上げを前提とした具体的な表記はやめたほうがいいというその1点です。ただ、私が言っている趣旨は将来的に絶対に値上げを否定するものではありません。今日のこの段階で、そういうことをするべきじゃないということ言ってるんです。

鎌田会長

それをどう取るかというのは、それぞれの委員の解釈の問題だと思います。ご発言されかけましたが、佐藤委員はいかがお考えですか。

佐藤委員

今までにしても今回の値上げにしても全然検証もされてこなかったと市民の方々は思っていて、いきなり値上げだとそこまでステップアップしたような印象を受けると思います。定期的きちんと検証をして、値上げするかどうかを審議して、じゃあ今回はやめようとか、今回はやらなきゃいけないとか、それくらいの審議をきちんとしているということは、市民の方々にも知ってもらいたいというのがあります。今はコロナ禍ではありますが、それでも改定せざるを得ない状況にあるということは伝わってほしいです。今後も何が起こるか分からないけど、でも今、何もせずにいるわけではなく、きちんと検証し、審議しているから理解をしていただけないでしょうかということを経験から文言に入れておかないと、また急な話だと捉える人たちは絶対にいます。でもきちんとここに書いてあるとおり、私たちはやってるんですよと言うためにも、これは私は必要だと思うんですけど、いかがですか。それも受け取ったときの市民感情だと思います。

小曾委員

ですから、断定的な表現は極力やめようということです。

佐藤委員

今その文言の話をしているじゃないですか。

小曾委員

それで、値上げが既成事実化したという表現は、やめましょうと言っているんです。ただ、継続的に検証し、見直しをするという表現はその中間のようでいいじゃないですか。

鎌田会長

「見直しを行う」と書くと断定的になるというのであれば「見直しをし」でいかがでしょう。

小曾委員

「見直しを含めて検討する」みたいなニュアンスがいいと思います。

鎌田会長

「見直しを含めて検討する」。

小曾委員

だから、そういう表現であれば、誰が読んでも未来永劫にそのままだという感じはないからいいと思います。こういう既成事実化したような表現は今全く時期尚早です。

鎌田会長

一応、そこで多分「など」というのを入れることになっていて、私もそこで納得をしているところではあるんですが、行うという表現がそう捉えられるならば、ここは小日向委

員おっしゃられるように、「考える」なり「考慮する」なり、また事務局から経営戦略の表現も提示があったと思いますので、行うというのがちょっと強い表現であれば、そこは少し考えたほうがいいのかと思います。委員の皆さんの御意見は基本的にはこの文言は残したほうが良いということなので、どうでしょうか。今、行うというのがちょっと引かかるというところもあります。経営戦略で「必要性を検討」ということでまとまっていますので、これでしたら少し緩やかな表現でいいでしょうか。

**小曾委員**

それは3年、5年という文言へ戻すんですか。

**鎌田会長**

どうですか。

**小曾委員**

「将来的に見直しを検討する」という表現のほうがいいんじゃないですか。3年、5年というのは既定事実です。

**鎌田会長**

そうですね。ただ、一方で、皆さんおっしゃられたように、十何年でできてきてないということがあり、入れておけば少なくとも5年たてば、検討する場ができるのかなというところがあります。定期的でもいいかなと思いますけど。私は年限を少なくとも入れたほうがいいのかという気はします。入れると、やっぱり行政的には少なくとも5年やってないという話にはなるので、そこで値上げをするかどうかというのはまたそのときに審議会等を立ち上げていただいて、皆さんから御意見をいただくという話になるとは思いますが。3年から5年というのは、ちょっと抽象的かもしれませんが、一応経営戦略にもそういう形で記載されているんですよ。

**須田次長**

はい、3年から5年と。

**鎌田会長**

そちらもそちらで、それなりにきちんと計画を練って立てているものですので、何らかの根拠になると思いますので、ここの表現と合わせたほうがいいのかという気はします。ここは3年から5年という数字を残したいというふうに私としては思いますが、よろしいでしょうか。

**小日向委員**

賛成です。

**小曾委員**

反対です。

**佐藤委員**

賛成です。

## 鎌田会長

それぞれ御意見はあることは承知していますが、年限に関して、それから断定的な表現で既成事実化することに対して御意見をいただいたということは議事録にはしっかり残ると思いますので、そのことを踏まえて、今後事務局でも今回御意見いただいたことを踏まえて、3年から5年後の見直しの際には少しそういう意見があったということも押さえていただいて、今後検証若しくはその後の見直しを進めていただければよいかと思います。皆さん全員納得いただいて決まるのがいいのかなと思いますけれども、それぞれ御意見があるところなので、意見の一致を見ることはなかなか難しいと思いますが、時間の制約もごさいますので、ではそのような形で進めさせていただきたいと思います。

それでは、その他ございますでしょうか。付帯意見で、あと太田委員から御指摘いただいた、「社会経済情勢」の文言に関しては、本質的な話ではないと思いますので、事務局で見直していただいて、最終案としたいと思います。社会経済情勢を考慮してということは、太田委員、そこは加えていただいて文章のつながりを修正するという理解でよろしかったでしょうか。

## 太田委員

私も上水道の運営主体であるわけなんですけれども、ちょっとお話をさせていただきますと、神奈川県の上水道の給水人口は、県民の3割しかカバーしていないので、一般会計からの繰り入れという発想はなく、独立採算で運営しております。逗子市の場合は下水道普及率が実質100%あると思うので、御認識は違うかもしれないんですけれども、一般の行政サービスと違って、上下水道などは独立採算で、それで自己完結しなければいけないものであるということからすると、将来的に持続可能な経営をするためには、どういうことをやっていかなきゃいけないか。もちろん料金体系、料金も含めてということなんですけれども、独立採算の原則という意味では下水道も一緒だと思います。そういうことからすると、あくまでも経営指標を用いた経営分析に基づいて将来的に持続可能な経営ができるかどうかというところから検証すべきじゃないのかなと思います。そこに社会経済情勢という要素を入れる必要があるのかというのが、私としてはちょっと疑問に感じます。

## 鎌田会長

おっしゃるとおりだと思います。ただ、ここを入れたほうがいいというのは、今回みたいなコロナの状況があるということで、入れたいという意見だと思います。最初のところには一応料金改定の時期に関しては「社会経済情勢も注視の上」若しくは「十分配慮の上」となっていますが、次の改定なり検証のときには、社会情勢が関わってきてないということですね。水道、下水道の原則から言えば、今、太田委員がおっしゃられたとおりですが、そこはいかがいしましょうか。今回が特別だと言えば特別ですし、結局のところ、税金もどこに使うかで、一般財源から繰り出しをするということは、本来使い道がいろいろある税金が、下水道に使われてしまうということもあるかと思います。根本的には独立採

算で運営するというのが原則ですが、それが成り立ってないところには例外的に一般財源から補填をして流用ということで、今それが行われているわけですよ。いかがでしょうか。

小曾委員

公共料金ですよ。

鎌田会長

はい。

小曾委員

電気、ガス、水道全てが今言った独立採算なので、独立採算内の経営指標で全て決めればいいんだということで通りますか。公共料金というのは、市民や使用者が負担しなくちゃいけないなんてそれは何かおかしい理論だと思います。

鎌田会長

原則はただそうなってますからそれをどうするかということもあります。

小曾委員

さっきも言ったように、市民や使用者のほうを向いて、いろんな政策を実行したり、あるいは重大な決定をするということがどうなっているのかということです。経営指標だけ見て運営していけばいいのかということです。そんなことされたらたまらないです。社会経済情勢がどうなろうが、そんなの知ったことではなく、今経営が苦しいから値上げするんだという理屈になります。

田村委員

2つありまして、社会経済情勢を踏まえることは、やはり次回の見直しのときにも何が起きているか分かりませんし、必要だと思います。検証するときに社会経済情勢も勘案するのかというと、それは確かにそうだと思うので、その次の、「3～5年ごとに見直しの必要性を検討する」のところに、「社会経済情勢も踏まえて見直しの必要性を検討する」とするのはどうでしょうか。あともう一つ、「使用料以外の収入確保に努力しながら」というのも、どこかで入れてもいいのかなと思います。まとまったところで大変申し訳ないんですけども、やっぱり全員の意見が一致しないので、このままでは「3～5年」を入れるのか入れないのかというところも、まとまらないまいくよりかは、やっぱり「経営努力もする」ということをここに謳ったほうがいいのかなと思います。

鎌田会長

いかがでしょうか。今回に関しては、少なくとも一番最初のところで社会経済情勢を勘案してということは文言として入っているので、改正を実施する場合には改定時期に関して考慮してくださいという話ですが、後段のところには入っていないので、今回の状況等々を踏まえると、やはりそういうことも考慮した上で、きちんとやっていただきたいということは残すという意味では、今の田村委員の御意見のとおり、※5のところに社会経済情

勢を入れるという話であれば、今の先ほどの太田委員の御指摘の部分とも、評価の部分に関しては社会情勢は考慮はしないけれども、改定の実施に関しては社会経済情勢を考慮するというところで、お互いの部分は補完できるのかなという気がします。そうすると、小曾委員の社会経済情勢を考慮してほしいという部分も反映されるのかなと思います。小日向委員、佐藤委員、今のことに関して御意見いかがでしょうか。

#### 小日向委員

そうですね、市としても、きちんと努力はするという事は入れておいたほうがいいと思います。その論議というのは、これからあるのかもしれませんが、浄水管理センターなどの施設を駐車場やほかのものに利用するとか、そういったことで収入を得る努力もするという事は入れておけば、そのほうがいいと思います。

#### 鎌田会長

佐藤委員、いかがですか。

#### 佐藤委員

下水道事業そのものが、利益を上げるためのものではなく、インフラを整えるための必要不可欠なものを維持するためのものだということを分かっていたきつつ、使用料収入以外の利益を上げることで、使用者の負担を軽くする努力をしているということは、あったほうがいいですね。

#### 鎌田会長

公営企業ですので、できるところ、できないところはあるとは思いますが、努力はしてほしいということは、そこの理解を得るところにもつながるのかもしれませんが。改めて入れていただきたいという意見で、御賛同いただいています、どこかに入れることは可能でしょうか。最後の部分のあたりですかね。

#### 須田課長

その辺に入れて、付帯意見としてまとめたいと思います。

#### 小曾委員

今、市の経営努力という話がありましたが、以前の審議会で、話題に出ていた三浦市が検討していたコンセッション方式は、要するに民営化になります。民営化をしている自治体は、全国的には少ないですが、少しずつ増えてきました。結局、将来的にこういう値上げをお願いしないと維持運営ができないようなことであれば、抜本的な経営の在り方を考え直すということも検討されたらどうかなと思います。前にその話をしましたら、今は全然そういうことは考えてないというお返事だったと思うんですけど、民営化ということも一つの大きなテーマとして視野に入れていただきたいと思います。

#### 鎌田会長

ありがとうございます。ただ、これは料金改定に対する付帯意見なので、今の御意見は御意見として伺っておいて、次回の経営戦略改定のときに三浦市の事例なりを踏まえて経

営の在り方を検討するということで御議論いただくべき話かなと思います。今の貴重な御意見としては、事務局もぜひ承っておいていただきたいと思いますが、付帯意見に加えるのは難しい内容だと思います。

それでは、田村委員から御提案がありました社会経済情勢の文言を後段のところに加えていただき、実施する場合には社会経済情勢を加味するというところと、市としても何らかの経営努力をしていただきたいということで、この2点の文言をつけ加えさせていただいて、付帯意見の最終案とさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは、付帯意見の原案に関してはこれで終了したいと思いますが。いろいろ御意見いただきまして、ありがとうございました。

それでは、その他、3ですが、何かございますか、よろしいでしょうか。

#### 須田課長

事務局から委員の改選についての御案内となります。令和元年10月から皆様に本市下水道事業運営審議会の委員をお願いしてまいりました。9月末をもちまして任期満了となります。2年間、誠にありがとうございました。任期満了に伴い、市民委員につきましては公募とさせていただいております。詳細につきましては広報ずし9月号に掲載をいたしますので、ぜひ次回も応募の御検討をいただけたらと思います。よろしく願いいたします。

その他は以上です。

#### 鎌田会長

ありがとうございます。それでは、その他に関してはこれで終了といたしたいと思います。これで一応今日の議題は終了いたしましたので、審議会は終了とさせていただきます。残りの修正案に関しましては、事務局と私のほうで協議をさせていただいて、決定をさせていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、事務局にお返ししたいと思います。

#### 須田課長

本日はどうもありがとうございました。今後とも皆様の多大なるお力添えをいただきたいと思います。なお、本日作成いたしました答申につきましては、この後、11時半ごろから会長から市長に提出をいたします。提出場所は3階の市長応接室で行います。もし随行を希望される委員の方がいらっしゃいましたら、同席は可能ですので、希望される方は11時25分までにこの会場にお集まりください。

また、先ほど御案内いたしました、委員の皆様におかれましては、今回が任期最後の審議会となります。2年間、誠にありがとうございました。

最後に、環境都市部担当部長の芳垣より一言御挨拶をさせていただきたいと思います。

#### 芳垣担当部長

それでは、現委員の皆様の任期最後の会議ということになります。締めにあたりまして改めまして一言御礼を申し上げさせていただきたいと思います。

委員の皆様にはこの2年にわたりまして、下水道事業運営審議会の審議にお力添えを賜りまして、誠にありがとうございました。特に今任期中は、先ほどもお話に出ましたけれども、経営戦略の策定、あるいはこの使用料の改定といった、大変大きなテーマが審議事項となりました。委員の皆様には大変活発な御審議をいただきまして、多方から御意見をいただいて、進めることができたと思っております。重ねて御礼を申し上げる次第でございます。審議会の中で皆様からいただきました御意見、御提案につきましては、今後の下水道事業の運営の中で生かしてまいりたいと考えてございます。

終わりに当たりまして、改めまして皆様のお力添えに御礼を申し上げますとともに、今後の皆様のさらなる御健勝、御活躍をお祈りさせていただきまして、御挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

#### 須田課長

審議会は一旦ここで終了いたしますけれども、もし御同行いただける方がいらっしゃいましたら、11時25分に、こちらの会場に一旦お集まりいただきたいと思っております。どうもありがとうございました。

答申書の修正案をまとめましたので、ご覧ください。

#### 小田主事

修正箇所をお伝えします。

1つ目の改定期期について、小曾委員から御意見いただいたとおり、「十分配慮の上」と修正しました。

2つ目は、御意見がなかったので、このままで、3つ目の「改定期期に当たっては」では、「本市の下水道が危機的な状況にあり」を、「にあることを踏まえ」と直し、その後、小曾委員からいただいたとおり、「改定する場合は使用者の十分な理解、配慮が得られるよう」と直しました。

続きまして、修正いただいたとおり「説明と周知に最大限の努力を行う」と直しました。

次の「経営指標」については、そのままにしており、最後が「継続的に検証し、3～5年」というところは残し、その後「社会経済情勢を考慮の上」と入れました。続いて「見直しの必要性を含めて検討するなど」と直しまして、その後、「市としても経営努力を行い、適正な運用に努められたい」と修正いたしました。

#### 鎌田会長

よろしいでしょうか。

#### 佐藤委員

「市としても経営努力を行い」の前に「、」を入れておいたほうが良いと思います。

#### 田村委員

「市としても経営努力を行い」というのは、そこに入れると、経営努力が見直しなのかという表現になるので、それは別にするか、最初にした方が良いと思います。



鎌田会長

「市としても経営努力に努め」というのを後ろにしてもらうか、そこの文章が長くなっているの、見直しの話は別段でもいいかと思うんですが。

芳垣担当部長

そういう意味では、市としても、例えばですけど、「今後の下水道事業の運営に当たっては、最大限経営努力を行うこと」とか。

鎌田会長

そうすると、それは別項目でもいいのかなという気がします。「また」よりは別の項目にさせていただいたほうがいいような気がしますね。

須田次長

「最大限」というのはいりますか。

佐藤委員

頑張っていますというアピールになります。

芳垣担当部長

当然、経営努力はしているわけですので、それ以上のということが入れます。

小日向委員

「最大限」は、あったほうがいいですよ。

須田次長

あったほうがいいですね。

佐藤委員

「最大限」か、「より一層の」はいかがでしょうか。

鎌田会長

「より一層の」ぐらいでいいんじゃないですかね。「より一層の経営努力を」。

須田課長

これでいかがでしょうか。

田村委員

いいかと思えます。

佐藤委員

いいと思えます。

鎌田会長

ありがとうございました。